

# 施工説明書

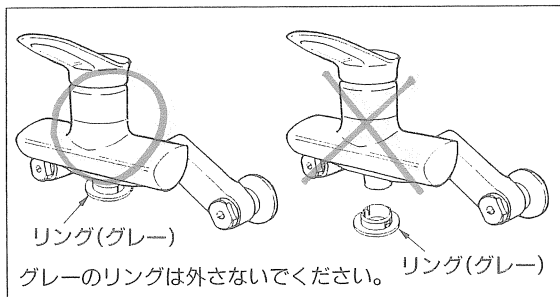
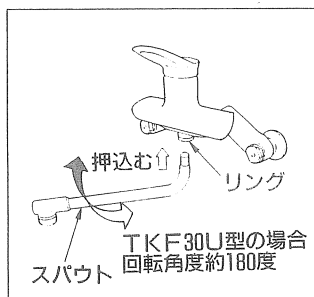
この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

## 4. スパウトの取付け (TKF30U型の場合)

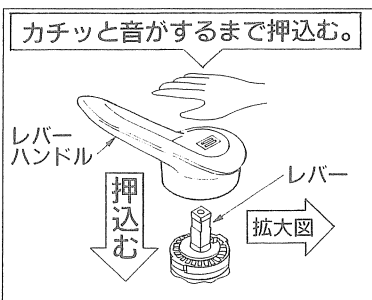
同梱されたスパウトを下図のように押し込み取付けてください。この時、吐水口キャップを手前にして取付けてください。後向きに取付けると、ストッパーがあるため、吐水口が手前に向きません。

万一、間違っ取付けた場合は、スパウト取付部のグレーのリングを上押し上げながら、スパウトを取り外してください。

※スパウトは押し込むだけで取付けが可能です。

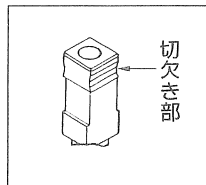


## レバーハンドルの取付要領



このレバーハンドルは、ワンタッチで取付けることができます。

ご注意



レバーハンドルとレバーの切欠きとの方向性に注意してください。正面からみてレバーの切欠きは、両サイドにあります。

万一方向を間違えて取付けた時は、レバーハンドルを一度引抜いて方向を合わせて再度押し込んでください。

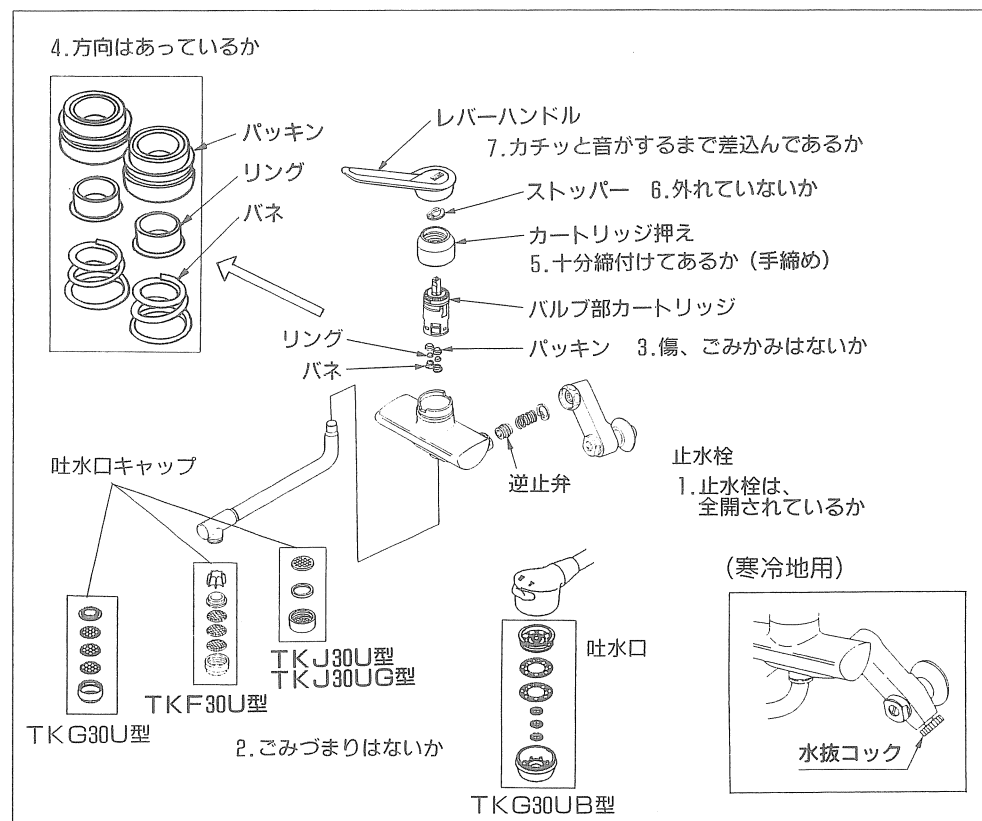
## 分解と点検

取付後、万一故障した際は、次の要領で分解および点検を行ってください。

ご注意

バルブ部カートリッジ内部は精密加工された特殊セラミックバルブを組立調整しておりますので、絶対に分解しないでください。

現象	点検項目
吐水量が少ない。	1、2
水が止まらない。	3、4、5、6
吐水温度不良。	1、2
ハンドルがガタつく。	7



最後に、レバーハンドルが容易に抜けないことを点検してください。

## 使用上の注意

この商品は、ウォーターハンマー低減機構を採用しております。

レバーハンドルを早く操作しようとする、抵抗感が発生し重く感じる場合がありますが故障ではありません。

万一、レバーハンドルがロックして水が止まらなくなった場合は、一度全開にして再度ゆっくり閉めて下さい。

## 寒冷地用水抜方法

寒冷地用の場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

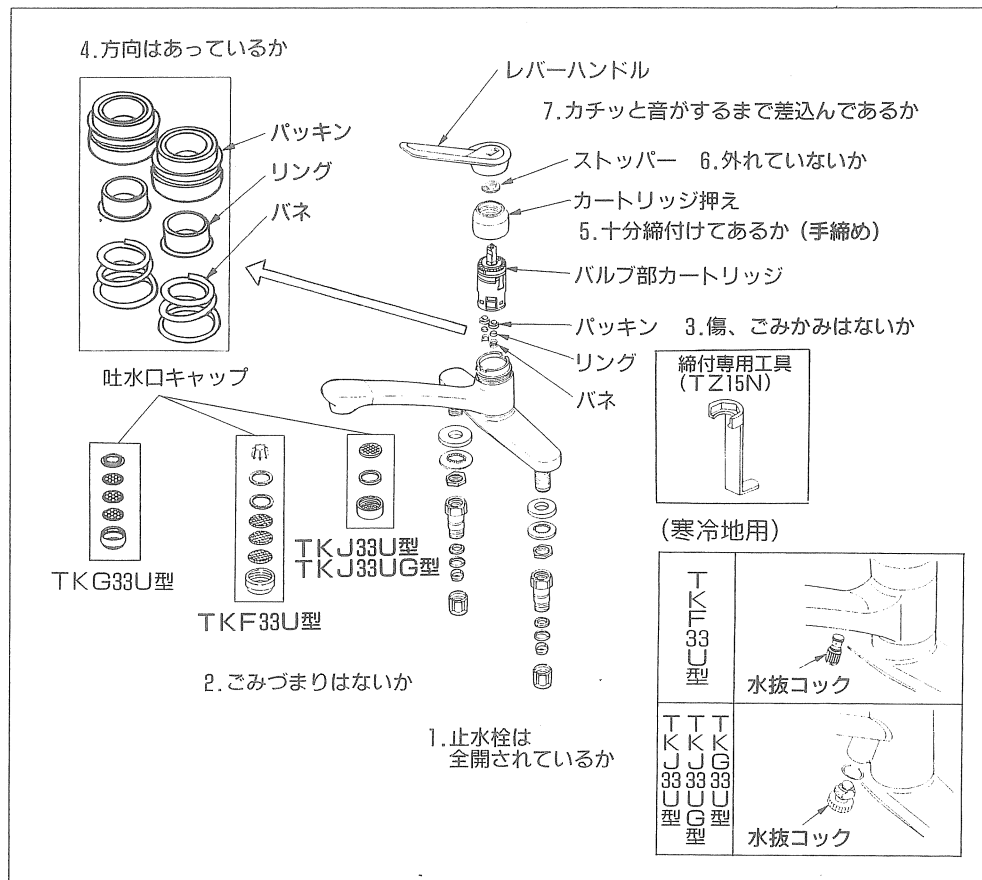
〈水抜手順〉

- (1)レバーハンドルを中央位置(湯側・水側の中間)で上げてください。
- (2)水抜コックを開いてください。
- (3)水抜き後は、必ず水抜コックを強く締めてください。

## お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご指導ください。

1. ふだんは柔らかな布でふき、ときどきミシン油やカーワックスなどをしみこませた布でふいてください。ただし、樹脂部に付着すると光沢を失うので付着しないよう十分注意してください。
2. 汚れがひどいときには、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で、ふきとった後、水洗いしてください。
3. クレンザーやみがき粉など粗い粒子を含んだ洗剤やナイロンたわしなどは使用しないでください。
4. 酸性洗剤はめっきを侵しますので使用しないでください。もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

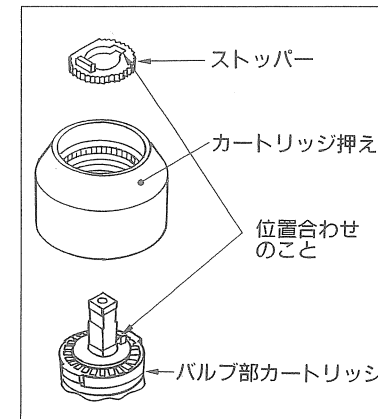


※品番によっては、図と現品の形状が異なることがあります。

### 点検時の注意

カートリッジ押えは、手締めにて締め付け、工具は使用しないでください。再セットされる際に、ストッパーを組込む時は、カートリッジ側凸部とストッパー側凹部を合わせて押込んでください。

その際カートリッジ押えの内側の歯と、ストッパーの外側の歯が合わない時は、カートリッジ押えを締め込む方向にて歯を合わせる様に調整してください。



再生紙を使用しています。 ※同梱の取扱説明書は、必ずお客様にお渡しください。

手渡しできない場合は、工事完了後ハンドルなどに吊り下げておいてください。